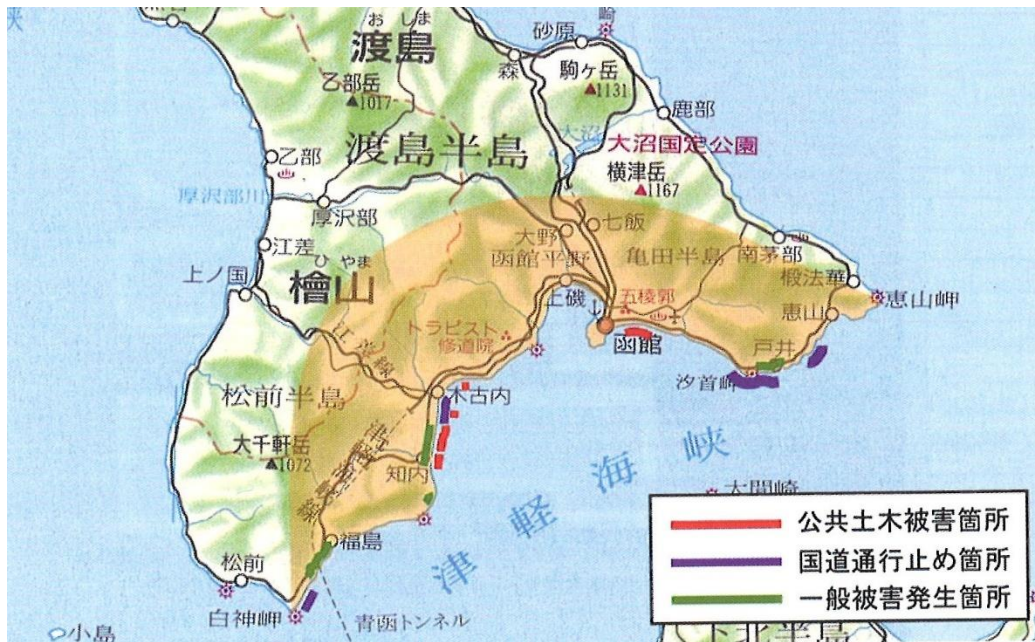


5. 渡島南海岸の現況と沿岸整備における課題

5.1 海岸防護の現況と課題

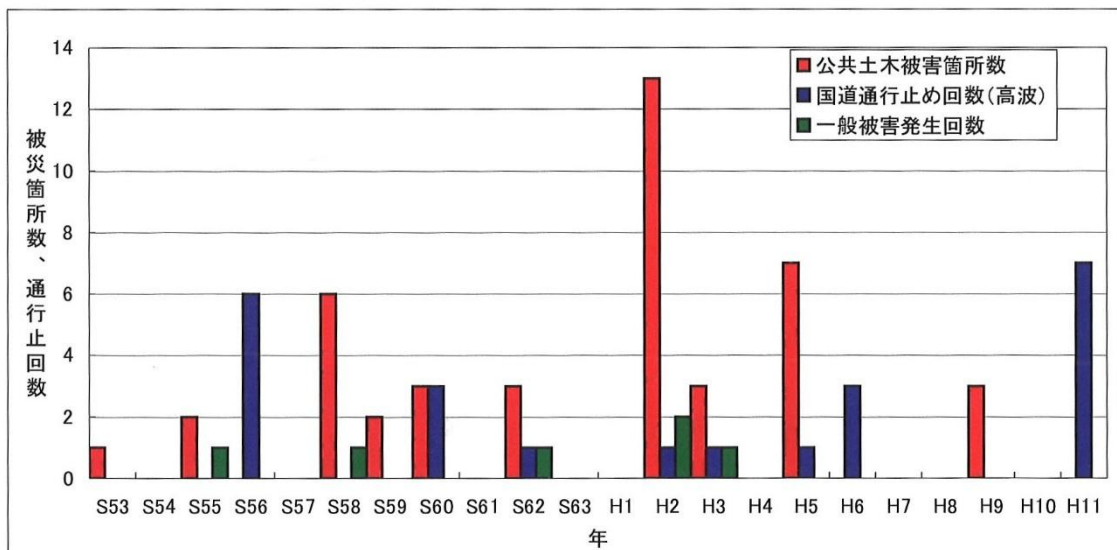
1) 海岸防護における保全施設整備の促進

- ◆高波・高潮・越波による災害や道路の通行止めは現在も発生しており、施設整備は未だ十分ではなく、防護の必要な海岸について整備を進め、老朽化した施設の対策も同時に進めていかななくてはなりません。



図－4 過去の被災箇所(S52～H11)

資料－「海岸災害実績」(北海道)「水害統計」(建設省河川局)「高波による通行止め」(函館開発建設部)

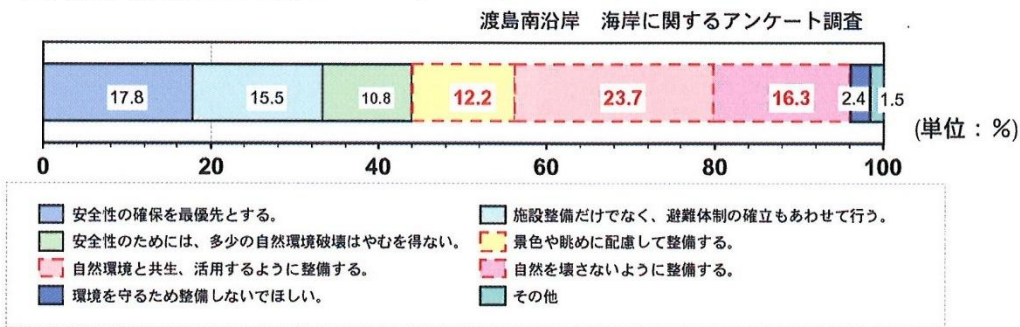


図－5 災害発生状況

資料－「海岸災害実績」(北海道)「水害統計」(建設省河川局)「高波による通行止め」(函館開発建設部)

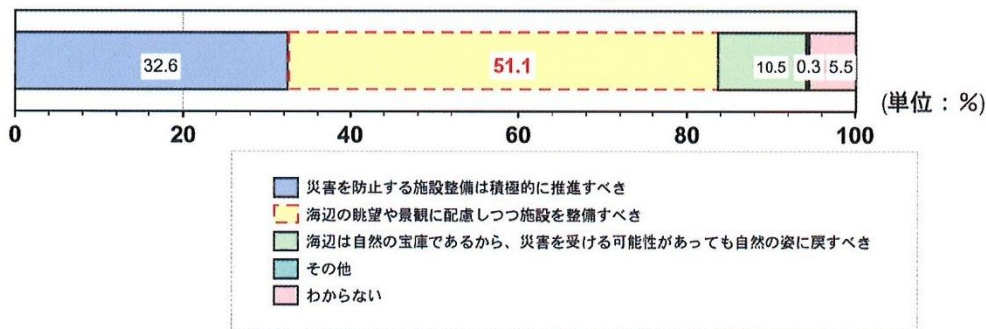
- ◆ 渡島南沿岸住民アンケートによると、「今後、防災施設を整備していくことについて」は、安全性の確保と共に自然環境に配慮した整備が求められています。生命、財産を守り、安全で安心して暮らすことのできる海岸整備を進めていくことが必要です。

今後防災施設を整備していくことについて



海辺の防災施設に対する考え方

海辺ニーズに関する世論調査
H12年 総理府



図－6 今後の防災施設の整備について
資料－渡島南沿岸住民アンケート (2000年12月)



写真－12 越波の様子 (知内町)

2) 砂浜の侵食対策

◆我が国の海岸侵食は著しく、砂浜海岸は激減してきています。渡島南沿岸も例外ではなく、防災機能、海水浄化機能、美しい景観、人と海のふれあいの場など、さまざまな機能を有する砂浜が減少しています。



図-7 砂浜の侵食位置

資料-「汀線の変化」(北海道函館土木現業所)

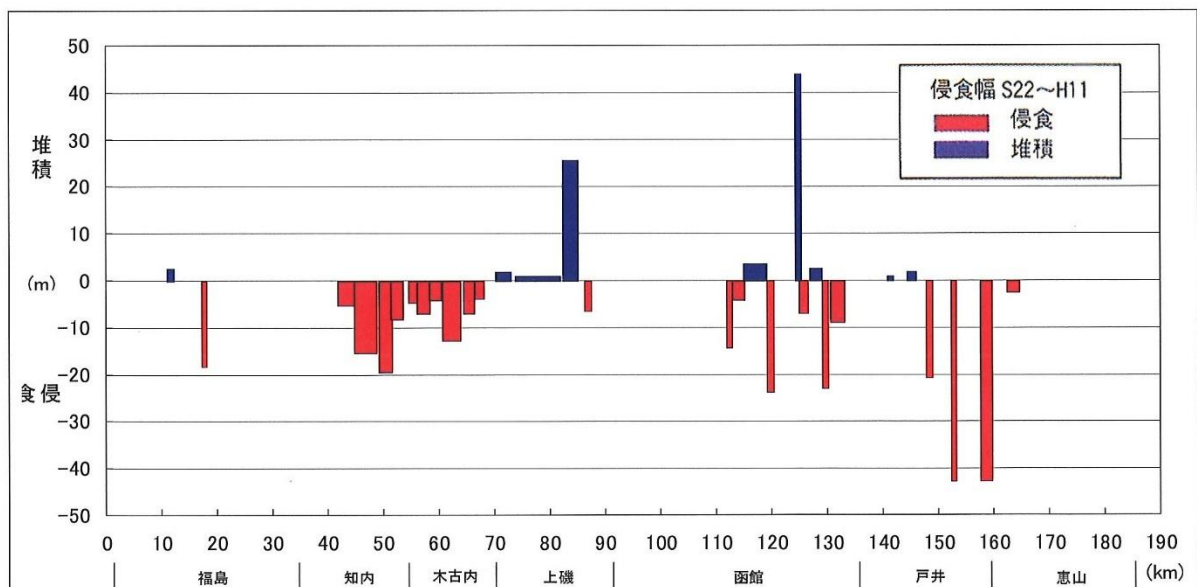


図-8 砂浜の侵食状況

資料-「汀線の変化」(北海道函館土木現業所)

◆渡島南沿岸住民アンケートによると、「海岸で不満に思うこと」「砂浜の10年前との比較」では砂浜が少なくなった、狭くなったと感じています。海岸の砂浜は、沿岸域の土砂と山・森林から川を通じて供給される土砂の量の収支によりその状況が変化します。このため、沿岸だけでなく流入河川流域の関係機関との連携を図りながら海岸整備を進める必要があります。

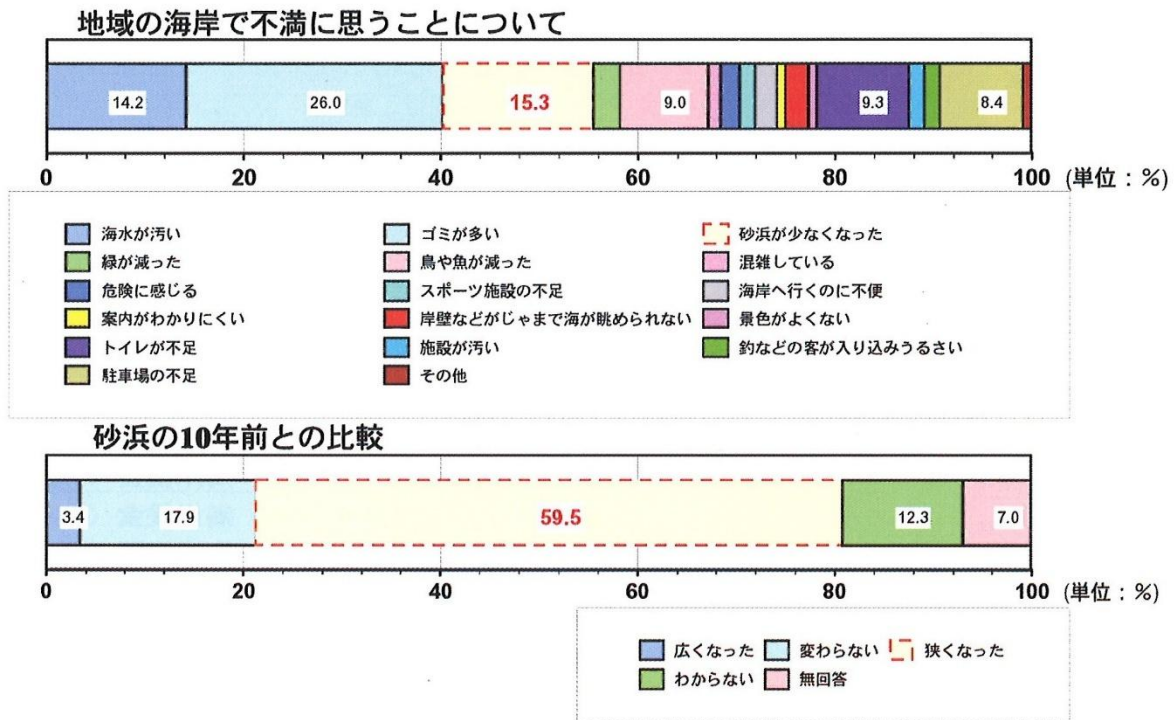


図-9 海岸で不満に思うこと、砂浜の10年前との比較

資料-渡島南沿岸住民アンケート (2000年12月)



写真-13 高波による砂浜侵食と浸食被害 (知内町)